



土浦市高齢福祉課 地域支援係 TEL 029(826)1111 (内線 2501)

つちうら認知症バリアフリー 市民講演会

令和5年の「つちうら認知症バリアフリー宣言」から2年がたち、今年度も9月6日(土)に、クラフトシビックホール土浦で「つちうら認知症バリアフリー市民講演会」を開催しました。当日は、認知症に関心がある方を対象に、190名の方が参加しました。

講師には、若年性アルツハイマー型認知症の当事者でありながら、認知症になっても暮らしやすい街づくりを目指し、地域に密着したデイサービスを開所されている山中しのぶさんをお迎えしました。山中さんは全国各地での講演活動にも精力的に取り組まれており、講演会当日も高知県から1人でいらっしゃいました。



開会挨拶

講演に先立ち安藤真理子土浦市長から、「本日の貴重なお話が、『新しい認知症観』の理解・促進に繋がり、共生社会の実現への一助となりますことを、ご期待申し上げます。」と主催者挨拶がありました。



講演

講演では、令和6年12月に閣議決定された「認知症施策推進基本計画」の中でも触れられている「新しい認知症観」をテーマに、山中さんが認知症の診断を受けてからの人生についてお話しいただきました。明るく、笑顔で話をされる山中さんの姿は、「認知症になっても1人1人が希望を持って暮らすことができる」という、まさに「新しい認知症観」にピッタリな内容であり、充実した時間を過ごすことができました。また、家族や地域で支え合う重要性も理解することができ、現在、ご家族の介護をしている方から「明るい未来が想像できました」という感想がありました。



質疑・応答

「ご自身が認知症と知ったときの気持ち」という質問に関して、山中さんは「認知症と診断されたあとのほうが生きやすい。今が一番楽しいです。」と答えられていました。「だからこそ、(悩みや困りごとを) 言える環境が大切です。」と仰っており、共に支え合う環境や居場所の重要性を実感することができました。



貴重なご講演、誠にありがとうございました！